



今なら失敗できる

朝の目覚まし時計代わりに「めざましテレビ」を見ている人が意外に多いのだなと思いました。そこにベルゲンが映し出されてビックリ、目が覚めたという人もいたかもしれません。午前中に市役所から電話で取材依頼があり、午後には取材そして夕方に授業風景を撮影して翌朝には放映ですから、ニュース番組は本当にスピーディー。でも取材中に習いごと応援キャンペーンの問い合わせ電話がかかってきたのは、決して「ヤラセ」ではなく本当の偶然です。

さて中学・高校・大学の入試がいよいよ実感として目の前に迫ってきていると思います。そこで今、何をすべきか悩んだり不安に思ったりしているかもしれません。だったら今のうちに問題にたくさんチャレンジして、いっぱい失敗しておきましょう。入試本番ではいけない失敗を今なら経験して改善策を考えられるからです。

中3なら、Vもぎの小問別正答率分析を活用して、「本当は正解できたはずの問題をなぜ間違えたか」を追究してみてください。そのために中3には毎年「間違い直しノート」を渡しているのです。そして「時間配分を考えれば解けなくてもよい問題もある」ことを見つけるのも現実的な考えです。かといって「これは捨て問でしょ」と言って何でもかんでも問題すら読まずに判断するのもダメです。問題用紙が配られたら、いきなり解くのではなく、まず全体の問題を最後までザーッと見回してから時間配分を考えつつ、問題に取りかかりましょう。公立高校入試では、科目別の入試問題の作りの違いも見極めなければなりません。千葉県の場合、国語と数学は時間配分が重要になってきます。理科と社会は、時間は大丈夫ですが「完全解答なのか」「漢字指定なのか」「図や資料を見間違えていないか」などの注意ポイントがあります。英語は今回からリスニング問題の増加による10分間の時間増をどう生かすかです。

私が目覚まし代わりに見ている朝ドラ「エール」では、馬具職人の試験に失敗し続ける五郎さんが、あるアドバイスをきっかけに集中力を発揮して見事合格しました。さあ、みんなもそれに続こう！